

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係

令和7年 10月 10日 / No.2

「あったかい言葉かけ県民運動」へ応募を頂いた
中から少しでも多く紹介していきたいと思います。

日々の忙しさを離れ、心にとめ、感じていただけ
ると幸いです。

「心配しなくてだいじょうぶ」

てん校してきた日、めっちゃドキドキした
じこしょうかい。すぐきんちょうした。友達
ができるかな。とても心配だった。話し終わ
ったとき、一人の男の子が「心配しなくてだ
いじょうぶ」と言ってくれた。心配がふきとん
で、とてもうれしかった。

「先生、大丈夫だよ。僕が教えてあげるから。」

私は小学校に初めて赴任し、不安の中で毎日
を過ごしていました。そんな4月のある日、戸惑っ
ていた私にクラスの子が「先生、大丈夫だよ。僕が
教えてあげるから。」と笑顔で声をかけてくれま
した。その一言がとてもうれしく、胸があたたかくな
りました。先生としてではなく、一人の人間として受
け入れてもらえたような気がして、『この子たちと
一緒に頑張ろう。』と思えた大切な瞬間でした。

「頑張って」

みんなの前で、班の代表として話すこと
になりました。とっても緊張していたけれ
ど、班の人の「頑張って」という言葉で、緊
張が少しほぐれて頑張ろうという前向きな
気持ちになることができました。

「頑張って」という言葉は、人を勇気づける
温かい言葉だと感じました。

「また明日ね」「気をつけてね」

私の友達は、毎日、学校が終わって下校す
るときに、必ず「また明日ね」、金曜日だと「ま
た月曜日ね。気をつけてね」と、気付けば毎回
言ってくれています。その何気ない一言にポカ
ポカしています。私も友達と解散するときは、
毎回「気をつけてね」と言うようになりました。
友達へ いつもありがとう。

「ここ空きますから、どうぞ」

夏祭りのことですが、焼きそばを買って食
べようと席を探していると、小学3(4)年生ぐ
らいの男の子が一人で座っていて、「ここ
空きますから、どうぞ」と言って立ってくれま
した。困っている人を見つけて、自分から
進んで声をかけてくれたので、あったかい
気持ちになりました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から
応募いただいた作品より紹介させていただきます。